山口県高P連会報

令和３年２月15日発行

21号

発行　山口県公立高等学校PTA連合会
〒753-0072 山口市大手町2－18　山口県教育会館2F
TEL 083－923－4761　FAX 083－923－4785
http://ymg-kpren.jp/　E-mail ymgt.koup@etude.ocn.ne.jp

ごあいさつ

山口県公立高等学校ＰＴＡ連合会
会長　銭廣　義和

まず初めに、新型コロナウイルスへの対応に、第一線で奮闘されている医療従事者の皆さまに、心から感謝申し上げます。そして皆様を支えておられるご家族にもかさねて御礼申し上げます。

コロナ禍によって生活が激変し、当たり前の日常が突然、自由にならない日々が続いております。ＰＴＡ連合会の活動におきましても、２０２１年１月、再度の非常事態宣言が出される状況となり、研修会も中止としました。これで今年度は山口県公立高等学校ＰＴＡ連合会の主な行事は、すべて中止となりました。そのため、今年一年間で皆様にお会いすることはありませんでした。相互の連携を深め、よりよい方策を求めて行くのが、本会のあるべき姿であると自分は考えておりますので非常に心苦しく、ＰＴＡの存在意義に不安を覚えた一年でもありました。

そのような状況の中で、最も影響を受けているのは子供たちではないでしょうか。感染抑え込みの流れで多くの行事が縮小または中止となり、モヤモヤしてストレスが溜まり、先が見えない未来に不安になるのは大人も子どもも同じはずです。特に、多感な時期を過ごす高校生は、子どもと大人の狭間で、色々なことを敏感に感じ取っていることでしょう。

〝ソーシャルディスタンス〟

人と人との間に物理的な距離を取らなければならない時代だからこそ、人の気持ちや心のぬくもりが伝わるとどんなに嬉しいか……。

人の気持ちを明るくするのも人、暗くするのも人だと思うのです。

これからの未来を創っていく高校生の心を少しでも温かく照らしていくことが、私たち大人のそしてＰＴＡの本来の目的だと思います。２０２１年は「ＰＴＡは子供たちの応援団」のスローガンを改めて噛みしめ、子供たち、生徒たちの心の灯になる活動を全力で進めてまいりたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

悪い流れの一年でしたが、非常事態に沿った取組として、書面にての決議で総会を行い，当会の運営が恙無く行えたこと、全国会長会議がリモートで実施されるなどの運営の簡素化、ＩＴ化が推進したことは、ＰＴＡ組織の在り方の指針となるはずです。組織改革、運営方法の見直しを図りながら新しいＰＴＡ連合会の形も模索してまいります。

改めて２０２１年、コロナの終息を願い、子供たちに安全安心な学生生活が戻ることを祈願し、さらに、山口県公立高等学校ＰＴＡ連合会への皆様からのご支援をお願いして、駄文を締めさせていただきます。

【お知らせ】

令和３年度
山口県公立高等学校ＰＴＡ連合会　総会

日時：令和３年６月４日㈮１３：３０～
会場：ホテル ニュータナカ（山口市湯田温泉）

令和３年度
第63回中国・四国地区高Ｐ連大会
徳島大会

日時：令和３年７月16日㈮
会場：アスティとくしま（徳島市）

令和３年度
第70回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会
島根大会

日時：令和３年８月24日㈫・25日㈬
会場：くにびきメッセ、松江市総合体育館他（松江市他）

県教育長へ要望書提出について

地区別連絡協議会（７地区）及び常任委員会から提出された要望事項と昨年度までの要望事項を再検討し、以下の内容について「令和３年度要望書」として11月５日（木）に銭廣会長、筑本副会長、中村副会長、佐藤副会長、田中監事から県教育委員会の浅原教育長に提出し意見交換を行いました。下記の各要望事項についての回答書を、３月にいただくことになっています。

要望事項

１　子どもたちの健全育成とＰＴＡ活動の活性化、促進について

（１）学校・家庭・地域社会との連携・協働体制の確立

（２）コミュニティー・スクール機能の充実

２　県立高校の再編整備とそれに伴う教育現場への配慮支援について

（１）校舎等の部分的な老朽化対策ではなく、全面的な建替えの検討

（２）質の高い高校教育が維持されるような教職員配置

（３）遠距離通学生の交通手段の確保、負担軽減

３　キャリア教育の推進と進学支援・就職支援の推進について

（１）「キャリア教育総合推進事業」等、各種事業の継続、普及

（２）仕事に対しての取組み方や、やりがいを子供たちに伝える仕組みづくりや体制づくりの推進

４　施設、設備の充実と安全な教育環境の整備について

（１）空調設備の設置、トイレの様式化・バリアフリー化

（２）ＩＣＴを活用した効果的・効率的な教育の実現

５　部活動の充実活性化について

（１）コロナ禍における部活動支援の継続

（２）外部部活動指導員の配置

（３）「運動部活動の在り方に関する方針」「文化部活動の在り方に関する方針」に基づく指導・運営体制の構築

６　いじめの未然防止や相談・支援体制の充実について

（１）生徒指導・教育相談体制、支援機能の充実

（２）感染症に係る感染者やその家族を守る徹底した取組

７　生徒通学時の安全確保等について

（１）交通安全教室等、事故防止に向けた指導の継続

（２）信号機や街灯、防犯カメラの設置等、登下校時の安全対策

令和３年度　主要行事予定

月	日	行事
5	28(金)	令和２年度第５回常任委員会 令和３年度第１回常任委員会（山口県教育会館）
6	4(金)	山口県高Ｐ連総会（ホテル ニュータナカ）
7	16(金)	第63回中国・四国地区高Ｐ連大会徳島大会（徳島市）
	26(月)	第２回常任委員会（山口県教育会館）
8	24(火)～25(水)	第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会（松江市他）
10	8(金)	第３回常任委員会（山口県教育会館）
R4.2	18(金)	第４回常任委員会（山口県教育会館）

祝表彰

本年度、以下の各団体・個人が表彰されました。
おめでとうございます。

◇全国高等学校ＰＴＡ連合会会長表彰

（団体の部）

山口県立宇部商業高等学校ＰＴＡ

（個人の部）

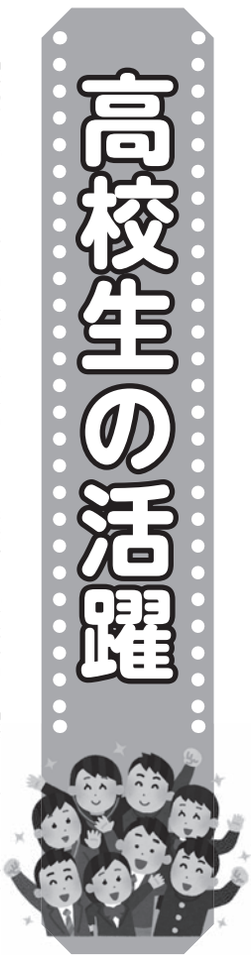
金沖 真須代 氏（山口県公立高等学校ＰＴＡ連合会前副会長）
（山口県立宇部中央高等学校ＰＴＡ前会長）

佐々木 義徳 氏（山口県公立高等学校ＰＴＡ連合会前副会長）
（下関商業高等学校ＰＴＡ前会長）

◇優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰

山口県立防府西高等学校ＰＴＡ

高校生の活躍

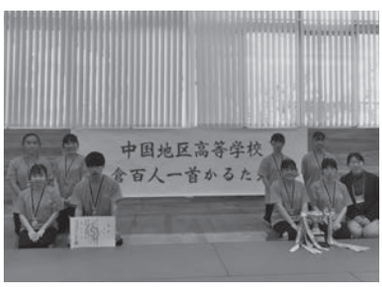


「競技かるた」の魅力発信　～地域と学校の「誇り」の共有～

山口県立小野田高等学校　小倉百人一首かるた部顧問　青池　のぞみ

「第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会」が、令和２年11月７～８日に岡山県で開催され、小野田高校が念願の優勝カップを手にしました。令和３年３月には、中国ブロック代表として、東京で開催される「全国高校生かるたグランプリ」に出場する予定です。この大会は、かるたの「春の甲子園」と呼ばれ、全国８ブロックを勝ち抜いた強豪10チームが、総当たり戦で日本一を目指します。

小野田高校単独チームでの中国大会優勝は初めてです。優勝を決めた瞬間、選手たちは涙を浮かべながらも、とびきりの笑顔で仲間をたたえあい、喜びを分かち合いました。今年は、コロナ禍で、夏の全国大会をはじめとする各種大会が中止となりました。目標となる大会がない中でも、部員たちは、少グループを組むなどの感染防止対策をとりながら練習を続けてきました。部員同士で何度もミーティングを重ね、時には本音でぶつかり合いながら、気持ちを一つにし、チーム力を高めてきました。練習後は気持ちを切り替え、図書室で勉強会を行い、先輩が後輩に勉強を教えながら学習課題に取り組みました。部活も勉強も、誰かが苦手な分野は、得意な誰かが補っていくという発想で、ピンチをチャンスに変えていくための工夫をしています。新型コロナウイルスの感染拡大は続いていますが、多くの方々に支えられ、こうやって練習できることに感謝し、高い志を持って日々の練習に臨んでいます。



中国大会の様子

本校のかるた部の最大の特徴は、様々な地域連携活動に積極的に取り組んでいることです。山陽小野田市は、かつて競技かるたの女性日本一である「かるたクイーン」を２名輩出し、小学生から高齢者まで競技かるたを楽しむ「かるたの町づくり」を進めています。初代永世クイーンとなられた久保久美子さんは、小野田高校在学中にクイーンの座に就かれました。そのような地域の誇りを受け継ぐべく、平成28年に本校に山口県初の「小倉百人一首かるた部」が新設されました。競技かるた選手としての技術の向上はもちろんですが、「かるたを通して人間性を磨く」を部訓とし、地域に貢献できる人材育成に努めています。主な活動として、山陽小野田市文化スポーツ振興課と連携して市主催のかるた大会やかるた教室などのイベントの運営スタッフをしたり、市内の小・中学校と連携してかるた教室を開催し、部員が講師となって小・中学生に競技かるたの魅力を伝えたりしています。また、地域の公民館の成人学級でかるた教室を開催し、高齢者と一緒にかるたを楽しんだり、外国人の方ともかるたを通して国際交流を行うなどの活動もしています。

小・中学生との交流会

地域と学校が連携して、「誇り」を共有することによって、地域に愛される学校づくりが進み、地域に育てられた高校生が活躍することで、さらに地域が元気になっていきます。地域のアイデンティティが、スクール・アイデンティティとなり、若者が地域を活性化する担い手となっていることを実感しました。学校の文化的な活動の持つ力には、大きな可能性があります。さらに本活動が深化・発展していくように、今後もこつこつと実践を積み重ねていきたいと思います。

外国人とのお坊さんめくり

公民館の成人学級

部活動ができる有り難み

山口県立熊毛南高等学校　女子サッカー部顧問　藤本　純乃介

熊毛南高校女子サッカー部は、山口国体に向けて、県内女子サッカー強化の一環として平成21年に立ち上げられ、今年で創部11年目です。部員は現在20名（1年生10名、2年生10名、マネージャー1名）で、そのうち12名が高校からサッカーを始めた生徒です。チームには部活動指導員、外部コーチ、トレーナーがおり、私は今年度から顧問になりました。コロナ禍であり、活動が難しい1年でありましたが、今年度の活動をふり返ってみたいと思います。

4月、新型コロナウイルスの影響で休校になり、集まって練習することができなくなりました。サッカーができないストレスを抱えながらも、部員たちは「zoom」というアプリを用いて週5日間、朝9時からトレーニングに励みました。トレーニングは、トレーナーの方に協力をお願いし、主に怪我予防を意識した内容で、自宅でできる筋肉トレーニングやストレッチをしてもらいました。トレーニングの様子はＫＲＹやｔｙｓのニュースでもとりあげられました。毎回ほとんどの部員が参加していたこと、トレーニング後自主的にランニングを行った部員がいたことに関心しました。インターハイ山口県予選が中止になった時は流石に落ち込みましたが、「冬の高校選手権を目指そう」となんとか気持ちを切り替えて頑張りました。

5月末から学校が再開され、サッカーの練習ができるようになりました。部活動の再開初日は、学校の近くにある企業のグラウンドを貸していただき、紅白戦をしました。私も部員たちも皆が一緒にサッカーができる喜びを感じながらプレーしました。それ以降、通常に近い活動ができるようになり、山口県内を中心に練習試合や合宿を行い、部員同士の絆を深めていきました。3年生のキャプテンが気さくな性格であり、チームは毎日笑顔の絶えない雰囲気で、部員全員が試合で伸び伸びとプレーするようになりました。また、高校からサッカーを始めた部員たちが日に日に成長していき、スターティングメンバー争いが始まりました。8月からは公式戦ができるようになり、それに伴って部員たちのモチベーションもさらに高まり、練習後に自主練習をするようになりました。

11月1日（日）、全国高校選手権大会山口県予選が開催されました。チームはこの大会の優勝と、中国大会出場を目標にしていたのですが、結果は2位に終わり、この日で3年生は引退となりました。試合後、1、2年生全員が泣きながら3年生に「ありがとう」と感謝の言葉を伝えていました。本当に、いい雰囲気のチームだと思いました。私は、その光景を見ながら、敗戦した悔しさを感じつつも、コロナ禍の中で大会が無事開催され、3年生が引退を迎えられたことにどこか安堵感を感じたことを覚えています。

1年を振り返ると、部活動が再開された5月末以降、とても充実した日を送ることができました。あっという間に時間が過ぎ、練習ができない期間が遠い昔のように感じます。しかし、現在も新型コロナウイルスは予断を許さない状況で、部活動ができることが当たり前ではないことを忘れてはいけないと思います。また、コロナ禍でも練習用の広いグラウンドを貸していただいたり、差し入れをいただくなど、地域の方々にたくさんのサポートをしていただき、より一層有り難みを感じました。日々の貴重な時間を大切にし、今の環境に感謝しながらこれからも部員たちと共に成長していきたいと思います。新型コロナウイルスの1日も早い終息を願っています。

大津緑洋高等学校　新生カッター部！新時代を築く！

山口県立大津緑洋高等学校　カッター部監督　濵砂　博昭

《大津緑洋高等学校でのカッター競技》

大津緑洋高等学校は平成23年、大津高等学校・日置農業高等学校・水産高等学校の県立３校が統合し、県内で唯一の、普通科・農業科・水産科のスリーキャンパスを擁する新しい高校として開校した。

もともと、水産・海洋系高校にはカッターという伝統的な競技があり、毎年地区ごと（全国を６ブロックに分けている）の予選を経て全国大会が実施されている。本校前身の水産高校では、一時、部員不足からカッター部の伝統が途切れていたが、統合後、各キャンパスで多くの部活動が展開する中、水産の伝統であるカッターをメインに、他のマリンスポーツも取り入れることにより、全てのキャンパスの生徒が男女を問わず参加して水産の魅力に触れることができ、全国レベルでの活躍も期待できる特色ある運動部として、平成25年に再建された。

ここに紹介させていただくカッター競技とは、長さ９メートルの12人漕ぎのボートに、艇長と艇指揮と呼ばれる操船者が乗り込み、漕ぎ手と合わせ総勢14人で、ボート競技にはない回頭を有する往復１、０００ｍのコースで争われる。残念ながら高体連競技ではないが、水産系や海事系の大学・高専・高校での教育現場では海洋訓練の一環として、心身の鍛錬とともに操船技術や航海術の基礎訓練としても利用されている。

《新生カッター部の活動》

さて、カッター部の活動の『目標』は、全国カッター競技大会での優勝である。６月及び７月の大会時をピークに見据えて、１月から徐々に漕艇練習を開始し、全国に挑戦できる漕艇技術を完成させる。特に３月から６月にかけては厳しい追い込みの期間である。この期間に島根県や福岡県等近隣の高校と合同練習会もたびたび実施している。

しかし、活動の『目的』としては、本校の施設設備を利用してカッターの帆走であるセイリングによる周辺海域への巡航（魚釣りも含む）や、スクーバダイビング・シーカヤック漕艇等各種マリンスポーツを計画的に実施することで、生徒たちの『健全な育成』をめざしており、新生カッター部では、これを大事にしている。大会後の夏休みには、練習や合宿等は行わず、８月の後半からセーリング・ダイビング・カヌーを実施してマリンスポーツを楽しみ、技術の向上とともに海に親しむ心を養う。この時期、部員たちはそれぞれ嬉々として輝いている。

そして10月より、苦しい陸上トレーニングを中心とした体力向上プログラムを開始する。この時期に筋トレ合宿を実施して、トレーニングの苦しさを突破する強い気持ちを体現させ、次のシーズンに備えるのである。

また、新生カッター部では、水産校舎生徒限定で、朝学習も実施している。毎日20～30分ほどではあるが、水産校舎生徒全員が集合し、自分の目的に合った学習の時間を設けて、資格試験や日々の予習復習に費やしている。

《新時代に向けて》

部員の構成において、水産校舎の生徒が多く、日置校舎（農業科）、大津校舎（普通科）が少ないのが悩みである。多くの大津緑洋高生にこの楽しさ・厳しさを知ってほしい。そのためには、魅力ある部活動をめざして、『厳しく・楽しく・規律をもって』を合言葉に、『目標・目的』を達成する手助けを少しでもできればと願っている。本校の特色あるカッター部を経験した卒業生が、次のステップで活躍することを望んで止まない。

学校紹介

山口県立岩国工業高等学校　ＰＴＡ会長　筑本浩行

はじめに

岩国工業高等学校は、昭和14年に創立されて以来、これまでに１万６千人以上の卒業生を輩出しています。工業技術立国を支える優秀な技術者・技能者を育成し、県内外はおろか国外でもグローバルに活躍しています。昨年は80周年記念式典が挙行されました。

現在は、校訓である「責任・協調・創造」のもと、教育目標を「力と勢い、そして、探求心を育む岩工づくり～不易流行～」と定め、専門性を重視した基礎学力の向上と確かな技術力の習得を「力」にし、ものづくりや特別活動への積極的な活動による主体的な将来設計能力と豊かな人間性の育成を「勢い」をもって取り組み、将来の夢や目標をしっかりと定め、変化の激しい時代に対応し、理想を実現するために努力し続けるための「探究心」の醸成を図っています。

科学研修部

フェンシング部

また、平成29年度より〝コミュニティ・スクール〟として、地域に密着した信頼される学校づくりの取組を推進しており、これからも地域や社会の要望に応えることのできる専門高校を目指し、工業教育、ひとづくり教育の推進に全力で取り組んでいます。部活動も盛んでハンドボール部は国体も含め全国大会10回の優勝を成し遂げ、フェンシング部・弓道・科学研修部なども全国大会常連校として活躍をし、数々の輝かしい成績を収めています。

弓道部

ハンドボール部

学科構成は、機械科・電気科・都市工学科・システム化学科の４科からなり、定員は、機械科・システム化学科が各40名、電気科・都市工学科が各35名の１学年１５０名です。現在、４４７名の生徒が在籍しています。

学校行事

大きな学内行事としては、９月に運動会があります。高校生の運動会なんて、みんなが手を抜いてふざけてするものだと思っていたら、これが意外とみんな一生懸命なのです。基本的に各科対抗がベースになっているのでチームの勝利のために必死で戦います。綱引き・30人31脚・リレー・徒競走等、全て最後まで真剣に競技をします。学校生活最高の思い出になるのではないでしょうか。11月には錦帯

橋ロードレース大会、岩工祭（文化祭）があります。岩工祭は、例年だと２日間あり、１日は一般開放されます。今年はコロナ禍で３年生の保護者のみへの開放であったので、いつもより寂しかったですが、３年生の各クラスの生徒が躍動するダンスは素晴らしいものでした。

ＰＴＡ活動

私たちＰＴＡの活動の主なものは、バザー開催、広報誌作成、交流授業、面接指導です。

バザー開催や広報誌作成は皆様の学校でも実施されていると思いますが、岩国工業の特色ある活動としては、交流授業（今年度中止）と面接指導があります。

交流授業は、社会で活躍されている市内の方々を講師にお招きして授業を行っています。社会や仕事の事、具体的に技術や企業の求める人材など、幅広いテーマでそれぞれの視点から生徒にわかりやすく伝えて頂いています。以前は全学年を対象に行っていましたが、３年生はほぼ就職が決まっている時期なので１年生と２年生を対象にし、３年生はマナー講座に変更しています。身近な企業ですが意外と知らない企業や仕事があるので、生徒の視野を広げるのに役に立っていると思います。

PTA交流授業（R元年度）

面接指導は、ＰＴＡ役員やＯＢにスーツで参加して頂いて緊張感ある中で就職試験の面接のリハーサルを実施しています。生徒は、悪い点良い点を指摘されるので、自分自身を見直す事が出来て好評です。また、私はこの面接指導であり得ない質問をして生徒を困らせていますが、最後の説明で実際にはこんな質問は無い事。予定外の質問をされた時にどう対処するか考えるきっかけにする事を伝えて終わっています。

PTA面接指導（Ｒ２年度）

ところで、岩国工業のＰＴＡ総会の出席率が94％である事をご存じでしょうか。

これははるか以前のＰＴＡ執行部と先生方が話し合って、子供と向き合える最後の学校なのだから、最後くらい１年に１回開催される総会に出席するべきだとの思いから、総会に出席できなかったら会議室での総会に招集され、それにも出席できなかったら校長室での総会に招集されと、すべての保護者の皆様に最後まで学校へ関わってもらおうと始まったものだそうです。とにかくこの学校のＯＢには熱い人が多いです。

最後に、岩国工業高校４科連携による地域貢献事業を紹介します。

１　観光地の景観を撮影するフォトスポットに自分も映り込めるようスマホやカメラをセットできるスタンドを作製し、錦帯橋の観光の活性化に貢献する。

２　「錦帯橋を車椅子で渡ろうプロジェクト」に参加して車椅子の改良や補助器具の製作など様々な方策を考え、多くの渡れない方々の「渡りたい」の夢をカタチにする。

３　等高線地図を基に立体地形図を作成して自治会の集会所に設置し、洪水・土砂災害等の危険地帯や避難経路を視覚的に考察しやすくして地域の防災力の向上に貢献する。

これらのプロジェクトにおいて、岩国市・社会福祉協議会・自治会の後押しを得て、生徒が活躍している事も知っていただければ幸せます。

令和2年度「高校生熟議2020」開催

本年度開催された高校生熟議の様子について紹介します。まず最初に、本年度トップを切って開催した**小野田高校の取組**についてです。令和2年10月22日（木）**「山陽小野田市を活性化するために私たちにできることは？」**というテーマについて「どうしたらいいか？」「何ができるか？」などについて熟議が行われました。まず、最初に市役所職員5名によるパネルディスカッションが行われ、市の現状と課題についてや、市の魅力や特色、文化スポーツ、歴史、教育活動や子育て支援などについて多方面からの意見が交わされました。続いて、第2学年生徒約１４０名が5～7名からなる22のグループに分かれ、代表生徒による全体進行及び各班の議論を促進させる役割のファシリテーターの進行により、テーマに基づき意見を出し合い、議論をし、地域活性化に向けた企画を立案しました。そして最後に、各グループの発表が行われ、「医療や福祉の充実」「産業や経済の発展」「環境問題や防災対策」「観光開発や過疎化対策」などについて様々な提案が示されました。

ファシリテーター研修
（本番までに２回行いました）

次に、**熊毛南高校**の取組についてです。令和2年11月16日(月)**「帰りたいふるさと」**というテーマについて熟議が行われました。第1学年生徒約60名が12のグループに分かれ、さらに地域住民や卒業生らが、それぞれのグループに一人ずつ加わり、意見を交わしました。生徒一人ひとりが地域で撮影し持ち寄った写真を手掛かりに、テーマに基づき意見を出し合い、議論をし、「帰りたいふるさとづくり」

について企画を立案しました。各グループの発表では、「自然環境を守る取組」「医療機関の充実」「地域の伝統行事やボランティア活動への参加」等に関する様々なアイデアが示されました。

各グループからの発表の様子

最後に、**萩高校**での取組についてです。令和２年11月24日（火）**「これからの萩市のために私たちができること」**というテーマについて熟議が行われました。初めに「萩高・萩高生（若者）の強み・弱み、萩の町の強み・弱み」について出し合って話し合い、その内容をもとに「私たちにできることは何か？」などについて熟議が行われました。第２学年生徒約１３０名が７～８名からなる17のグループに分かれ、テーマに基づき意見を出し合い、議論をし、取組の「スローガン」を立案しました。各グループの発表では、「来たれ若者！イベント大作戦」「歴史ある萩を活性化させよう！～もっと知ってもらおう、来てもらおう、そのためにもっと知ろう～」など、インパクトのあるスローガンが提案されました。

「高校生熟議」の取組は、小野田高校、熊毛南高校では初めての取組でしたが、萩高校では５回目の取組でした。高校生熟議は、山口県や地元地域における様々な課題について高校生目線で主体的に考えることを通して、生徒たちのコミュニケーション能力を育み、主体的思考力や社会参画意識を高めるということを目的の一つとしている取組で、各学校やＰＴＡが主催し、山口県公立高等学校ＰＴＡ連合会が後援して実施しています。特に本年度はコロナ禍の中、広い会場（体育館）で三密防止対策を十分に行った上で実施しました。今後、さらに多くの学校において熟議が開催されますようご検討をお願いします。なお、熟議に関するお問い合わせは、高Ｐ連事務局までお願いします。

見舞金給付事業

☆　**傷病見舞金**

補償期間　４月１日～翌３月31日
見舞金負担金　全日制　300円
　　定時制　150円
被保険者
＊生徒（日本スポーツ振興センターの決定に基づき給付）
見舞金　（最高５万円）
香料　　３万円
＊保護者（ＰＴＡ活動中のみ）
入院見舞金　最高３万円
香料　　３万円

☆　**障害見舞金**　10万円

☆　**死亡見舞金**　10万円

令和２年度 小中高ＰＴＡ・校長会 連絡協議会開催

この協議会は小・中・高の連携協力を図る趣旨から企画され、今年度は高Ｐ連が主管担当し、11月27日（金）に開催されました。

協議及び情報交換では「コロナ禍におけるＰＴＡ活動の現状と課題」や「教育ＩＣＴ環境（オンライン学習等）の現状と課題」について、特にコロナ禍における取組状況についての情報交換や意見交換を行いました。どの校種でも総会が開催できない状況の中、様々な工夫による各種行事への取組の状況が報告されました。また、本年度内に児童生徒１人１台端末の整備が行われ、活用の準備や実践が行われている状況や課題等について熱心な協議が行われました。

今後も小・中学校ＰＴＡおよび高校ＰＴＡの縦の連携強化を図り、学校・家庭・地域の連携、協働の取組をさらに充実・活性化させていくことにつながる機会となるよう取り組んでまいりたいと思います。

令和２年度　災害負傷状況

（令和２年12月末日現在）

運動種別件数

種別	件数
野球	14
サッカー・フットサル	33
バスケ	19
柔道	2
バレーボール	8
テニス	4
ラグビー	5
陸上	6
バドミントン	3
ハンドボール	2
その他	4
計	100

学校管理下状況件数

発生時	件数
授業	12
部活	82
登下校	1
学校行事	9
その他	4
計	108

部位別件数

部位別	件数
骨折(腰椎分離症含む)	47
脱臼	6
半月板損傷	11
半月板断裂	9
靱帯損傷	25
靱帯断裂	17
打撲傷･挫傷	15
捻挫	10
脳挫傷･頭部外傷	1
軟骨損傷･炎症･骨炎	4
アキレス腱断裂	1
ヘルニア･腰痛症･腰椎分離症	6
関節炎･関節痛症･偽関節	5
血腫	5
肉離れ	2
その他	18
計	182

（重複しています。）

傷病見舞金　額別

見舞金	件数	合計額
¥10,000	34	¥340,000
¥20,000	8	¥160,000
¥30,000	4	¥120,000
¥40,000	4	¥160,000
¥50,000	57	¥2,850,000
計	107	¥3,630,000

障害見舞金

合計額	件数
¥50,000	1

入院見舞金

合計額	件数

香料

合計額	件数
¥30,000	1

各校PTAの構成員である

先生方のための補償制度

山口県公立高等学校PTA連合会

教員総合補償制度

主な補償内容（2021年1月現在の内容です。）

① **先生方の職務遂行に起因する法律上の損害賠償責任を補償**〈施設所有（管理）者賠償責任保険〉

② **先生方の個人生活に起因する法律上の損害賠償責任を補償**〈普通傷害保険個人賠償責任補償特約〉

③ **先生方のケガの24時間補償**〈普通傷害保険〉

詳しくは下記取扱代理店・扱者

フリーダイヤル 0120-084-025

「教員総合補償制度係」までお問い合わせください。

制度引受保険会社 **AIG損害保険株式会社** 中国・四国地域事業本部（広島支店）

〒730-0011 広島市中区基町12-6　富士火災広島ビル　TEL 082（535）6010

受付時間:午前9:00～午後5:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

取扱代理店・扱者 **NOSCOインシュアランスサービス株式会社**

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10　TEL 0120-084-025

受付時間:午前9:30～午後5:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

［承認番号 D-005013（2022-01）］

令和3年度　山口県ひとづくり財団

高等学校等奨学生募集のお知らせ

山口県ひとづくり財団は、将来、社会に貢献し得る人材の育成を目的として、向学心に富み、有能な素質を有しながら、経済的理由により修学が困難な生徒に対し、奨学金の貸与（無利子）を行っています。

≪出願の資格≫

- 保護者が山口県内に住所を有しており、高等学校等に在学している者
- その他団体の貸与型の奨学生でない者

≪募 集 期 間≫

令和３年４月８日（木）～４月３０日（金）

※出願に必要な書類の入手、提出は学校経由となります。
詳細は、学校または奨学センターにお問い合わせください。

公益財団法人　山口県ひとづくり財団
奨学センター
753-0072　山口市大手町２番１８号
山口県教育会館内
☎（083）933-4770
HP　https://www.hito21.jp

2021年1月以降の内容です。

任意加入

山口県公立高等学校PTA連合会
高校生総合保障制度

こども総合保険
自転車総合保険

大切なお子さまのさまざまな危険にそなえます。

① 新 新型コロナウイルス感染症対応オプションプラン。
② 学校内外、土・日すべてを含む1年365日24時間補償。
（学校管理下動産補償を除く）
③ 賠償事故に関しては
示談交渉サービス付帯（国内のみ）です。
④ 自転車事故でのケガの補償が、
すべてのプランで充実しています。
⑤ ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で
10万円以下のご請求は、電話による事故報告のみで
お支払いします。

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校で配付されます。
※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。
※詳しくはパンフレットをご覧ください。
※具体的な内容については、下記、「お問合せおよび相談窓口」へ
お問い合わせください。

お問合せおよび相談窓口

制度内容・加入手続き、事故についてのご相談、住所変更、転校など
午前9:30～午後5:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

お問合せ
0120-714-855
0120-504-551

加入者サービス

●ハロー健康相談24
電話による健康・医療・ストレスに関するアドバイスをします。
●セカンドオピニオンアレンジサービス
お子さまの病状・症状の相談をお受けします。
●メンタルケアカウンセリングサービス
心の専門家による面談カウンセリングをご提供します。
※上記サービスは、補償期間（保険期間）中、引受保険会社がティーペック株式会社に委託してご提供します。
今後、予告なく変更・中止される場合があります。

山口県公立高等学校PTA連合会
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内
TEL 083（923）4761　FAX 083（923）4785

制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社
中国・四国地域事業本部　広島支店
〒730-0011 広島市中区基町12-6
富士火災広島ビル　TEL 082（535）6010
受付時間:午前9:00～午後5:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
（取扱代理店）NOSCOインシュアランスサービス(株)
TEL 082（228）1222
受付時間:午前9:30～午後5:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

この広告は制度商品の概要をご案内したものです。詳細は「お問合せおよび相談窓口」までお問い合わせください。

［承認番号 S-210287　有効期限 2021-12］

全国高Ｐ連賠償責任補償制度

児童・生徒賠償責任

※学校（PTA）単位での申し込み（年間掛金　400 円 × 生徒数）
生徒に過失があり、他人の物を壊したり
他人をケガさせたりしたときの保険です。

ＰＴＡ賠償責任

PTA（団体）に過失があり、PTA 活動中に、
他人の物を壊したり、他人をケガさせたり、
他人から借りた物を壊したりしたときの保険です。